

株式会社 福島三技協

代表者: 代表取締役社長 後藤 貞明

所在地: 〒960-2152

福島県福島市土船字明神前1-1

●資本金: 2,000万円

●従業員数: 172名

●電話番号: 024-593-3111

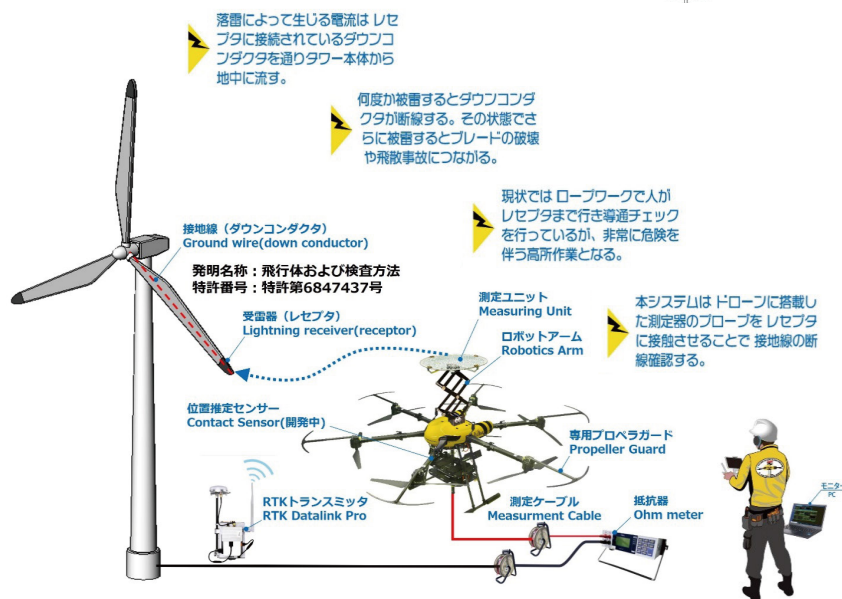
●FAX番号: 024-594-2122

連絡担当者: 市場戦略室 室長 福島 雄一

ホームページ <https://fukushima-sgc.com/>

主な製品・技術等

大型風力発電機ブレード点検用ドローン開発 **team Dr. Bee**



主な事業・営業品目

- ①プロダクト事業: マイクロ波通信機器、衛星通信機器、光伝送通信機器、通信制御機器
- ②フィールド事業: モバイル通信基地局保守、ネットワーク関連保守、大型風力発電設備保守
- ③技術支援事業: 電気設計、構造設計、基板設計、ソフト設計、試作評価

風力発電分野の取組み

PR・挨拶

弊社では主に通信機器関係の事業展開を行ってまいりましたが、2017年より風力発電機のメンテナンス業務を開始しました。毎年業務の幅を広げ、2020年にIRATA(産業ロープアクセス業者協会)のロープアクセス技術を習得し大型風力発電機のブレード点検を実施しました。現在は、いわき市様と連携しながらドローンによるブレード点検の実証研究を行っております。大型風力発電機のメンテナンスを軸とする技術提供を行うと共に、会員の皆様と福島県が目指す再生可能エネルギーの普及に貢献していきたいと考えております。

これまでの実績

【風力発電機メンテナンス】

2017年: 年次点検業務開始

2018年: 半年点検業務開始

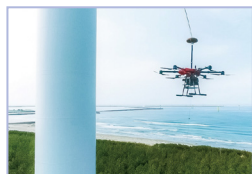
2019年: ドローンによる

ブレード点検実証研究開始 秋田県潟上ウインドファーム

2020年: 予防保全業務開始

2021年: いわき市様と連携協定締結

2022年: 風力発電商用機での実証試験成功



具体的な提案

ダウンコンダクタ導通点検はロープアクセスや高所作業車を使って行うのが主流であることから費用が高額になるため、どこの事業者もやりたがらないのが実情です。

これらを解決するためにはスマートメンテナンス・デジタル化が必要になりますが、弊社が進めているドローンを使った実証研究成果を社会実装することにより課題を克服できると考えております。

いわきウインドバレー推進協議会を通じて技術展開し、いわき市様を中心にダウンコンダクタ導通点検のネットワークを構築しながら事業展開していきたいと考えております。

対応項目

■ブレード部 ■メンテナンス関係